

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 24日

石川県知事 馳 浩 殿

提出者  
住 所 石川県白山市松本町1600-1  
氏 名 大阪有機化学工業株式会社 金沢工場  
工場長 榮村 茂二  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 076-276-6261 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大阪有機化学工業株式会社 金沢工場
事業場の所在地	石川県白山市松本町1600-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	16 化学工業
②事業の規模	204.3億円
③従業員数	248人

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	4,398.6 t	— t
(これまでに実施した取組) ・工程の見直し及び改善により発生量を抑制。 (燃料化廃油の有価物への転化を含む) ・燃料化できる廃棄物の再利用。			
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	8,230 t	— t
(今後実施する予定の取組) ・増設した処理設備の安定化を図り排出された廃棄物の処理に努める。			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・社内で発生する廃棄物の全ての種類について、分別の方法をマニュアル化して、廃棄物が混在しないようにしている。
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別方法について継続的に手順書の見直しを実施する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	3,247.9 t	— t
	（これまでに実施した取組） ・副生油処理施設において、今まで外部処理を行っていた廃棄物を燃料として処理する事が可能になった。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	4,000 t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・副生油処理施設の稼働率を安定させ、安定した処理数量と可能なら数量を増加させる。 ・増設した処理設備を安定させて処理に努める。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	2,230.6 t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	3,247.9 t	— t
（これまでに実施した取組） ・副生油処理施設において、今まで外部処理を行っていた廃棄物を燃料として処理し、その熱で蒸気を発生させる。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	3,000 t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	4,000 t	— t
（今後実施する予定の取組） ・処理設備に不具合が出ないように状態管理を強化する。 ・増設した処理設備を安定させて蒸気の発生に努める。			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	1,150.7 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,119.0 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	512.6 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	173.6 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	441.6 t	— t
	（これまでに実施した取組） ・委託処理の際、VDS等の提出。 ・契約前の現地確認、及び継続的に現地確認を実施。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	3,730 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	3,730 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2,730 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	335 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	665 t	— t
(今後実施する予定の取組) ・WDSの作成・提出を徹底する。 ・優良認定処理業者への処理委託を検討する。 ・再生利用業者、熱回収業者への処理委託を検討する。			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和5年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	4,396.8 t	
(今後実施する予定の取組等) ・電子マニフェスト導入済み。 ・電子マニフェスト使用済み。			
※事務処理欄			

## 備考

- 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- ※欄は記入しないこと。

別紙

今年度(令和6年度)の特別管理産業廃棄物発生目標量

(単位:トン)

		現状	引火性 廃油	強酸	強 アルカリ	感染性 産業廃 棄物	特定有害産業廃棄物					合 計
							廃油	廃酸	廃アルカリ	汚泥	その他 (PCB等)	
本	特別管理産業 廃棄物排出量	現状	4,247.7	29.9	17.6	0.0	103.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4,398.6
		計画	7,000.0	30.0	1,050.0	0.0	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8,230.0
年	自ら再生利用を 行う特別管理産 業廃棄物の量	現状	3,247.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,247.9
		計画	4,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,000.0
度	自ら熱回収を行 う特別管理産業 廃棄物の量	現状	2,230.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,230.6
		計画	3,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,000.0
の	自ら中間処理に より減量する特 別管理産業廃 棄物の量	現状	3,247.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,247.9
		計画	4,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,000.0
計	自ら埋立処分を 行う特別管理産 業廃棄物の量	現状	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
画	全処理委託量	現状	999.8	29.9	17.6	0.0	103.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1,150.7
		計画	2,500.0	30.0	1,050.0	0.0	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,730.0
の	優良認定処理 業者への処理 委託量	現状	968.1	29.9	17.6	0.0	103.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1,119.0
		計画	2,500.0	30.0	1,050.0	0.0	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,730.0
計	再生利用業者 への処理委託 量	現状	495.0	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	512.6
		計画	1,700.0	0.0	1,030.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,730.0
画	認定熱回収業 者への処理委 託量	現状	158.5	9.9	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	173.6
		計画	300.0	15.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	335.0
の	認定熱回収業 者以外の熱回 収を行う業者へ の処理委託量	現状	323.5	19.9	0.0	0.0	98.2	0.0	0.0	0.0	0.0	441.6
		計画	500.0	15.0	10.0	0.0	140.0	0.0	0.0	0.0	0.0	665.0